

教育目標

豊かな心をもち、たくましく生きる幼児の育成

【めざす幼児像】

- 友達と仲良く 元気に遊ぶ幼児
- やさしく 豊かな心をもつ幼児
- 自分で考え 行動できる幼児



【めざす幼稚園像】 「明るく元気な幼稚園」

- 一人一人の幼児が安心して自分らしさを発揮できる幼稚園
- 認め合い、助け合い、励まし合って、共に育っていく幼稚園
- 自然を愛し、郷土を愛する幼児が育つ幼稚園

★身体の成長と生活習慣の確立を保障します★

幼児期は身体的な成長が著しく、運動的な機能も著しく向上していく時期です。園庭を自由に走り回り、ブランコを思い切りこいだり、鉄棒を回転したりするなど、複雑な動きも楽しめるようになります。昼間に積極的に遊ぶことで、食事や睡眠などの生活のリズムも獲得していくことができます。また、手先も器用になり、はさみを使って切ったり、折り紙を折ったり、遊具を操作したりするなど、道具や遊具を使いこなせるようになってきます。それに伴って食事、排泄、着替えなど、生活習慣も徐々に自立していきます。

幼稚園では、身体能力の成長を基盤として、自立して生活する基礎を養っていきます。

★自我の芽生えと育ちを保障します★

家庭を離れて同年代の子どもたちと遊びを展開していく中で、物や場の取り合い、遊びの進め方、役割決めなどをめぐり、友達との間でトラブルやけんかに直面することがあります。今までには、大人の保護下で解決してもらっていたことが、幼児期になると子どもたち自身の問題として解決することが多くなります。友達同士が仲良く過ごせるようになるためには『自己をはっきり主張すること』『我慢すること』『折り合いを付けること』『互いの考えを認め合うこと』などが大切になってきます。そして、友達と協力して取り組む楽しさや充実感を味わっていきます。

幼稚園では、友達との関わりを通して、人と関わる力や協同性を身につけていきます。

★身近な世界への関心と体験を保障します★

幼児期の子どもたちは、いろいろな場に行き、様々な物に触れることで、現実的な世界について理解するようになります。絵や空想の世界で満足するのではなく、ごっこ遊びのように実際に自分たちで遊びを実現させていくことができるようになります。ごっこ遊びなど自己実現していく活動を通して、自然や物の性質・仕組み、素材の種類、道具の扱い方などを身に付けていきます。また、就学前になると文字や数量、生活に関する記号などへの興味や理解力も高まってきます。

幼稚園では、友達と一緒に様々な体験を通して、知的好奇心や探究心を育てていきます。

